

埼玉東萌短期大学 実習・キャリア通信

第1号 (2024年9月)

編集・発行：埼玉東萌短期大学 実習・キャリアセンター
2024年9月1日発行

ご挨拶

実習・キャリアセンター
センター長 栗本 浩二

平素より、実習・就職に関しましてご協力を賜り、本学教職員一同、大変感謝しております。今年度も学生たちは、各実習を通して学びを深め就職活動に向け活動をしています。

2024年度の実習・キャリア通信では、施設実習、教育実習、保育所実習の様子のご報告及び昨年度のキャリア支援等の報告をさせていただきますのでご一読いただけると幸いです。

最後になりましたが、皆様方におかれましても健康に留意され、お身体ご自愛くださいますよう心からお願い申し上げます。

2023年度に実施した就職先へのアンケート調査の結果について

担当：栗本 浩二

本学の2022年度卒業生の就職先を対象に調査を行いました。その結果、就職先からは39名分の回答が得られました。その結果につきましてご紹介いたします。

アンケート調査時に「現在も勤務する」と回答した就職先の就職者に対する評価		就職先が本学教育において今後改善・充実すべきと回答した割合が高い項目
とてもよい	ふつう	「対象理解・向き合う姿勢」、「保護者に向き合う姿勢・対応力」、「一般常識」、「保育技能の修得」
22 (56.4%)	14 (35.8%)	

本学が今後改善・充実すべき点は、一般常識や他者と向き合う姿勢、保育技能の修得であると示されました。今回の調査で得られた結果を踏まえて、学生の指導育成の充実・改善に教職員で一丸となって取り組んでまいります。

施設実習に向けた本学の取組みについて

担当：荻野 昌秀
八田 清果

1. 「保育実習Ⅱ」の取組み

5月から始まった「保育実習Ⅱ」（施設実習）では、学生にとっては初めての施設実習ということで緊張や不安がうかがえました。また、様々な感染症の影響も心配される中、施設職員の皆様方のご協力および丁寧な指導をいただき、多くの施設で無事実習を終えることができました。この場を借りて感謝申し上げます。

「保育実習指導Ⅱ」の授業では、映像教材や教員、過去の実習生のエピソードを基に具体的な記録の方法を学びました。さらに、その記録から施設の利用児・者の方々の特性や行動の理由を考察する練習を行いました。このような授業内容と共に実習で実践的に学んできた内容が、卒業生の就職先アンケート調査で本学が充実すべき点とされた「対象理解・向き合う姿勢」にもつながっていく内容であると考えております。

また、実習後には授業内で実習内容の報告を行いました。一部の授業には、発達障がい等の特性ある子の育児経験がある保護者による相談等を行っているペアレント・メンターの皆様も見学していただき、保護者やメンターとしての立場からのコメントをいただきました。

2. 「保育実習Ⅳ」の取組み

後期から始まる「保育実習指導Ⅳ」では、11月に行われる「保育実習Ⅳ」への準備を行っていきます。授業ではロールプレイなども活用しながら、利用児・者の方々とのかかわりについて実践的に学んでいきます。今年度は施設で勤務する卒業生からの助言も授業内容に反映させたいと考えております。また実習においては、「エピソード記録」を通して、利用児・者個人について考察を深めていきます。実りある実習となるよう、教職員で一丸となって取り組んでまいりたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

教育実習に向けた本学の取組みについて

担当：前徳 明子

水川 秀樹

教育実習（幼稚園）Ⅰ

11月の「教育実習（幼稚園）Ⅰ」に向けた事前事後指導の授業「教育実習（幼稚園）事前事後指導Ⅰ」を今年度も後期より行っております。

「基礎ゼミ」という授業において、今年も「半日見学実習」を実施致しました。

「半日見学実習」とは本学の系列保育所等において、『半日間、保育所で子どもたちの様子を観察したり、実際に子どもたちと関わる』等、1年生から現場を体感できる大変貴重な授業です。こちらの授業は本学独自であり、系列保育所がある本学ならではの授業内容であると考えています。

今回の「半日見学実習」では、小規模保育園での実習も行うことができ、乳児との関わりも多く出来ました。

また、今年度は7月に「半日見学実習」を実施したことで、前期に学んだ保育における知識や技能（手遊びや読み聞かせ等）を保育現場で十分に活かすことができたと考えています。

初めて子どもたちと接した学生たちは、嬉しくて、楽しくて、目がキラキラしていました。保育者と子どもたちの関わりにおいても大変勉強になり「本当に楽しく、勉強になりました！11月の実習に活かしていきたいです」という声が多く聞かれました。

さらに9月、10月には、保育現場（保育所、附属図書館）でのおはなし会を体験します。子どもたちの前に立ち、手遊びや読み聞かせの体験を行い、保育技能の実践を行います。座学では学べない貴重な体験です。また、他の授業と連携し、指導案について学んだり、8月には、事前事後指導の前倒し授業を行い、実習生としての心構えや姿勢、日誌の書き方の指導を行いました。ピアノについてもこれまで同様に複数の教員で1人ひとり丁寧に指導を行っております。ピアノ初心者の学生につきましては、実習前にお知らせし、学生が不安にならないよう、また、実習中、ご迷惑をおかけすることのないように相談させていただければと思います。

教育実習（幼稚園）Ⅱ

今年度も「教育実習（幼稚園）事前事後指導Ⅱ」と保育実習担当、ゼミ担当教員との連携をさらに強化し、丁寧な指導に繋がったように感じています。

今年度も学生1人一回必ず責任実習の主活動部分の模擬授業を体験し、振り返りを行いました。グループ単位、ゼミ単位での少人数において模擬授業を中心にしたことで、学生も取り組みやすかったようです。この取り組みにより、失敗を恐れずに積極的に質問をしたり、実践につなげることができた学生が多くおりました。

自分自身はもちろん、他学生の模擬授業を何度も繰り返し見ることで、「このような言葉掛けをしたほうが伝わりやすい」「このような工夫をすると子どもたちが製作を楽しめる」等、実践につながったシミュレーションが多く出来たことが、本番での自信につながったとの意見が今年度も多くありました。

全体報告会においても、10日間の実習期間で学んだこと、今後の実習や就職した際に活かしていきたいこと等が活発に話し合われ、保育者になるという大きな夢へ一歩自信をもって踏み出したように思えました。

お忙しい中、本学実習生を受け入れて頂きまして、心より感謝申し上げます。

保育所実習に向けた本学の取組みについて

担当：栗本 浩二

奥 恵

2023年度も各園の先生方のご理解、ご協力のもと、保育現場での貴重な学びの経験をさせていただきました。心よりお礼申し上げます。

2月の「保育実習Ⅰ」を終えた学生たちからは、保育所の生活の流れや子どもの理解、保育者の子どもへの関わり方などについて具体的に学べたこと、パネルシアターを観て子どもが反応してくれたこと、自己紹介シアターで名前を覚えてもらえたことなどが嬉しかったと報告を受けました。パネルシアター、自己紹介シアターにつきましては、学生の保育技能の向上を目指し、1年後期の「保育実習指導Ⅰ」、「基本ゼミ」の授業内で一人ひとりが製作をしました。手作りの保育教材は温かみがあり、子どもとコミュニケーションを取りながら実演できる良さがあると感じています。

また、初めての保育実習で乳児との関わり方に不安を抱く学生もいることから、本学の卒業生を授業に招き、乳児との関わり方や手作り保育教材の紹介などをしてもらいました。

今後は、11月の「保育実習Ⅲ」に向けて2年生一人ひとりが自己の課題を明確にし、子どもの理解と保育技能を高め、自信をもって実習に臨めるよう指導して参ります。

最後になりましたが、日頃より学生の学びを支えていただいております皆様に、この場を借りて改めて御礼申し上げます。



パネルシアター『だれのあしあと?』



卒業生によるスケッチブックシアター紹介

埼玉東萌短期大学のキャリア支援の取組みについて

実習・キャリアセンター

センター長 栗本 浩二

ゼミ担当教員によるキャリア支援について

本学は2022年度からゼミ制となり、学生6～9名につき1名の専任教員が担当しています。学生の普段の様子や学修状況を理解しつつ、個別に進路相談や就職試験対策等を行っています。また、各専門領域の担当教員と連携し、毎月の就職活動状況を共有しています。

2024年度のキャリアサポートプログラムの実施状況について

第1学年

7月：「就活スタートアップ講座」を通じて、保育士、幼稚園教諭、保育教諭、施設保育士の保育の仕事内容や役割を知り、働く意義とライフデザインを考えました。

7月：「公務員（保育士）講座」では公務員志望の学生が、公務員試験の内容や受験対策方法等について学びました。

第2学年

4月：オリエンテーションで年間の流れを知り、ゼミ担当教員と面談を始めました。

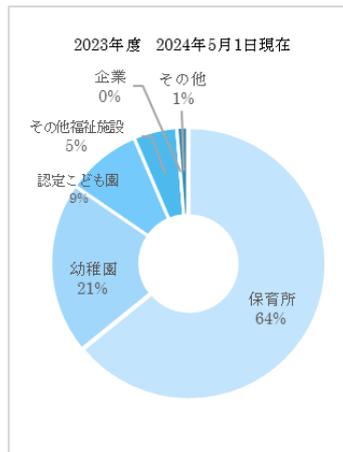
7月：公務員志望者は「公務員（保育士）模擬試験」に取り組み、本試験に向けた課題を見つけ、対策に取り組んでいます。

7月：「就職直前講演会」では、保育所、幼稚園、施設で勤務されている卒業生の先輩から、就職のきっかけや試験内容、仕事のやりがい等について教えていただきました。

8月：ボランティアや園見学、説明会等に参加する学生が増えています。一人でも多くの学生が就職につながっていくことを願っております。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

「就職直前講演会」



埼玉東萌短期大学

〒343-0857 埼玉県越谷市新越谷 2-21-1

TEL 048-987-2345 (代表)

FAX 048-989-4550

HP : <http://www.saitamatoho.ac.jp>